

線量管理における頭部血管回転撮影の影響の研究

に関する臨床データの研究利用についてお願い

研究の概要・背景

2020年4月施行の医療法施行規則の改正に伴い、被ばく線量管理が義務化されました。被ばく線量を最適化するための指標として公開されている診断参考レベル（**Diagnostic Reference Level**）を参考に、当院は被ばく線量の最適化に取り組んでいます。

回転撮影は通常の撮影と比較して被ばく線量が多くなるため、自施設での回転撮影の被ばく線量を把握しておくことが重要と考えられますが、当院の臨床データを使用して、回転撮影の被ばく線量の参考値を調査したことはありません。

本研究は、当院の頭部血管回転撮影で患者さんが受けた被ばく線量を集計し、当院の頭部血管回転撮影の被ばく線量の参考値を調査します。

試料・情報の利用目的・方法（他機関への提供を含む）

頭部血管回転撮影による被ばく線量の数値データのみを抽出して、当院の参考値の算出に使用します。患者さんの個人情報を取り扱いません。

対象者・期間

2025年5月～11月の期間に、当院で頭部血管撮影を受けた方が対象です。研究期間は当院倫理委員会の認可後から2026年1月30日までです。

データ利用のお願いと申し出について

これらの臨床データは通常の診療で記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。院外の学会または研究会で研究結果の発表を予定しております。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究において臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。研究不参加を申し出られたとしても、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。

【お問い合わせ先】

長岡赤十字病院 放射線科部

担当：川本 尚樹

〒940-2085 新潟県長岡市千秋 2-297-1

電話：0258-28-3600(代)、FAX：0258-28-9000(代)